

検討会を開催しました！

第1回

■開催概要

日時 令和8年3月8日（日） 10：00～12：00
 場所 見付交流センター2階 大会議室
 出席者 22名



■当日の内容

検討会の目的や今後の進め方について共有し、学校づくりの基本的な考え方や、地域の現状・課題について意見交換を行いました。

①検討会の目的

これからの学校のあり方や必要な機能について検討する目的を共有しました。地域に親しまれる学校を目指し、幅広い意見を取り入れながら進めていきます。

③磐田北小学校及び見付地区の現況について

磐田北小学校の施設の状況や、見付地区の特色・地域の現状について共有しました。学校と地域を取り巻く課題を整理し、今後の検討につなげていきます。

⑤複合化について

見付交流センターとの複合化の考え方や、複合化によって期待される効果について共有しました。学校と地域がより良くつながる施設のあり方を検討していきます。

②磐田市のめざす教育について

磐田市が進める教育の考え方や、こどもたちに身に付けてほしい力について共有しました。これらを踏まえ、これからの学校づくりを検討していきます。

④検討会の進め方について

今後の検討会やワークショップ、アンケート調査などの進め方を確認しました。地域や学校関係者の意見を取り入れながら、段階的に検討を進めていきます。

第2回

■開催概要

日時 令和8年6月21日（日） 10：00～12：00
 場所 見付交流センター2階 大会議室
 出席者 22名



■当日の内容

複合化施設の使い方や地域のかかわりについて意見を深めるため、前半に検討会の議題を共有し、後半はグループに分かれ、委員の皆さまから様々な意見を出し合いました。

①検討会（前半）

- 検討会の進め方について
- 学校施設の整備事例紹介（複合化事例等）
- よつば学府小中一貫教育の取組状況
- アンケート調査について（設問等の確認）

②グループ検討（後半）

磐田北小学校や地域、見付交流センターの現状・課題を共有し、10～20年後の未来を見据えて、「現在の姿」「未来の姿」「実現するための方法」の3つの視点から、4グループに分かれて意見を出し合いました。

磐田北小学校 新たな学校づくり検討会 かわら版 発行：令和8年10月
 【事務局】磐田市 教育委員会事務局 教育部 学校づくり整備課 学府一体校推進室
 〒438-8650 静岡県磐田市国府台3-1 TEL：0538-37-2115 FAX：0538-36-3205

磐田北小学校 新たな学校づくり検討会

かわら版
vol.1



磐田北小学校の新たな学校づくりについて、検討会での検討内容や地域・学校関係者等との意見交換の様子、整備に向けた取り組みの進捗状況をお知らせします。皆さまと一緒に考えながら進める学校づくりの過程を、かわら版を通じて発信していきます。

新たな学校づくり検討会とは？

磐田北小学校新たな学校づくり検討会は、磐田北小学校の整備に向けた基本構想・基本計画の策定にあたり、**これからの学校のあり方や必要な機能について検討するために設置された組織**です。

検討会では、現状の課題や地域・学校関係者等の意見を踏まえながら、**学校づくりに関する基本的な考え方や整備方針、施設機能のあり方**について検討を行っています。また、**見付交流センターとの複合化**についても、学校と地域がより良く連携し、**多様な世代が交流できる施設の実現**に向けて、利用方法や空間のあり方について議論を重ねています。

■以下のメンバーで構成されています

＜委員（25名以内で組織）＞

- 静岡文化芸術大学デザイン学部教授
- 磐田北小学校および近隣のこども園・保育園の保護者代表
- 見付地区地域づくり協議会
- 見付地区長、今之浦地区長および住民代表
- 磐田北小学校長、近隣のこども園・保育園長および職員代表
- 見付交流センター長
- 等



■検討会のスケジュール（予定）

年月	令和8年			令和9年											
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
学校づくり検討会	● 第1回	—	—	● 第2回	—	● 第3回	—	—	—	令和9年以降も継続開催					➡

地域の皆さんと一緒に考えます！

検討会だけでなく、地域ワークショップや小学校ワークショップの開催を予定し、幅広い世代の意見を取り入れながら、魅力ある学校と地域の拠点をめざします。

現在の施設の様子



磐田北小学校



見付交流センター

新しい磐田北小学校について

磐田北小学校の建替えと見付交流センターの複合化について、現在の状況や考え方をお知らせします。

①建替えの背景

磐田市では、昭和 40 年代から 60 年代前半に建設された学校施設が多く、老朽化が進んでいます。これからも子どもたちが安心・安全に学べる環境を維持するため、**建替えや長寿命化改修など、学校施設の更新を計画的に進めています。**

磐田北小学校については、小中学校 9 年間を見通した教育や地域とのつながりを大切にする「新時代の新たな学校づくり」の考え方を踏まえ、**令和 8 年 3 月から建替えに向けた検討をはじめました。**

②建替え方針

○小学校単独の建替え

磐田市では、「新時代の新たな学校づくり」や「学校施設の更新計画」に基づき、**すべての学校を一律に小中一校とするのではなく、各学府の特徴や学校施設の状況、地域コミュニティとのつながりなどを踏まえて、地域の実態に対応する学府一体校の形態を検討しています。**

磐田北小学校については、児童数が多いことなどから、城山中学校と校舎を一体化するのではなく、単独での建替えを進め、建替え後も「よつば学府」全体で連携して小中一貫教育を進める「**充実型学府一体校（C 型）**」として整備していく方針です。

○見付交流センターとの複合化

将来の人口減少や公共施設の老朽化など、地域を取り巻く環境の変化に対応するとともに、小学校を拠点として地域のつながりをさらに育んでいくため、**見付交流センターとの複合化を検討していきます。**

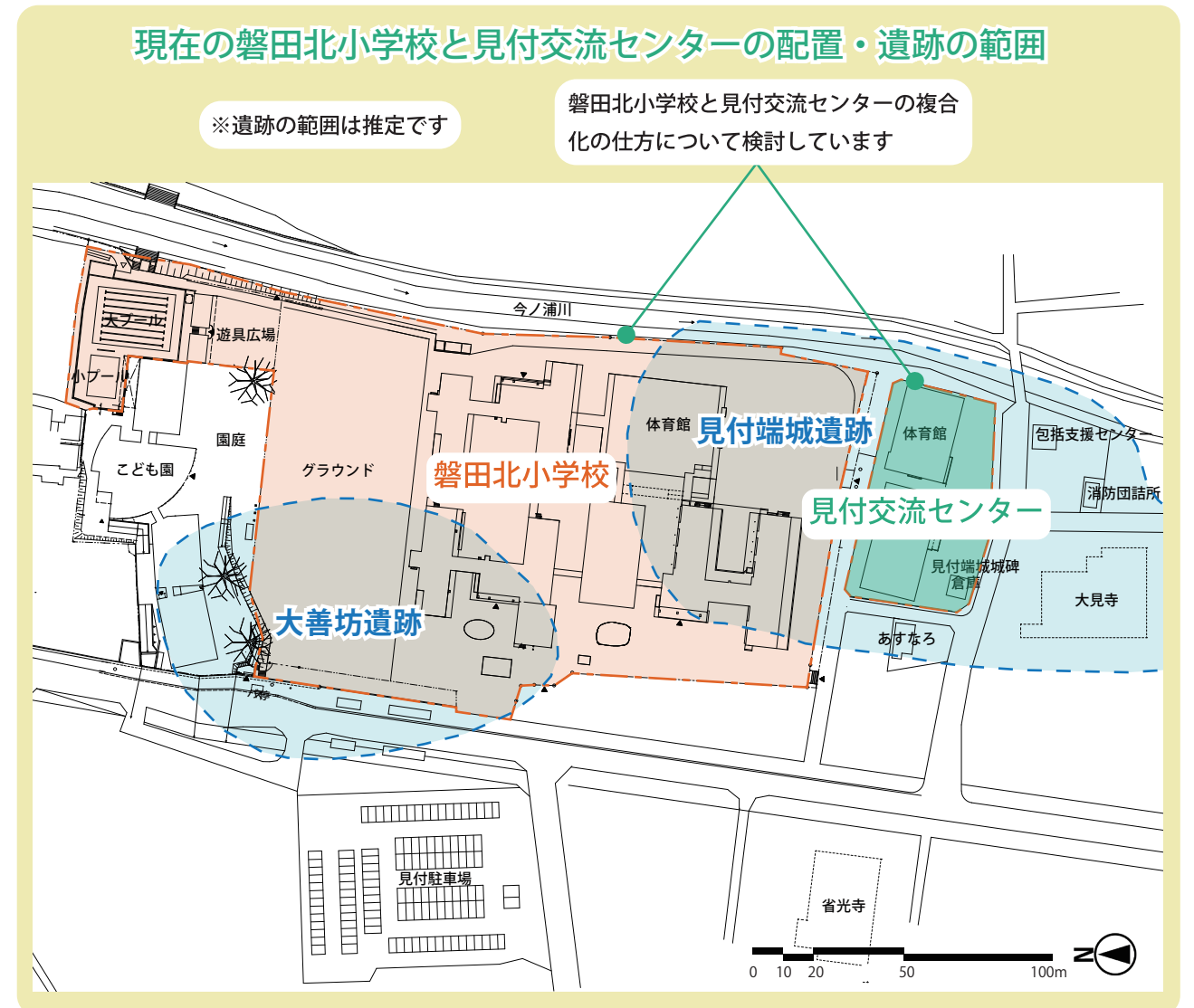
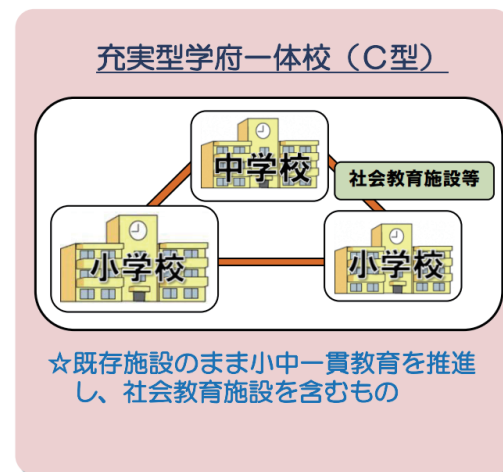
学校と地域がより良く連携し、**こどもから高齢者まで多様な世代が交流できる地域の拠点**となるよう、施設の使い方や空間のあり方について検討し、限られた敷地を有効に活用していきます。

施設の複合化とは

学校と地域のさまざまな施設を同じ建物や敷地内に整備し、それぞれの機能を活かしながら連携して利用できるようにすることを「複合化」といいます。今後、磐田北小学校と見付交流センターをどのように複合化していくのがよいか、みなさんと一緒に議論しながら考えていきます。

③磐田北小学校敷地と遺跡の範囲

見付地区は、古代から遠江国の中心地として栄え、東海道の宿場町として古くから人々の生活が営まれてきた地域です。磐田北小学校の敷地は、大善坊遺跡と見付端城遺跡の範囲と重なっており埋蔵文化財が埋まっていることから、文化財課と連携し、**令和 8 年度 12 月末までに確認調査を行う予定です。埋蔵文化財の範囲や状況を確認し、建替え計画を検討していきます。**



④磐田北小学校の児童と一緒に考える学校づくり

磐田北小学校の 6 年生は、ながふじ学府や向陽学府を見学し、最新の学校施設や学びの環境に触れながら、**1 年を通して「これからの磐田北小学校」について学び、考え、提案していきます。**

また、小学生へのアンケートやワークショップを通して、子どもたちが日頃感じている学校の良いところや課題、「こんな場所がほしい」「こんな学校で過ごしたい」といった思いも集めます。**さまざまな子どもたちの声を、新しい磐田北小学校の計画につなげていきます。**

学校見学の様子

見学した 6 年生の感想

新しい学校を見て、自分たちの学校の参考にしたい

